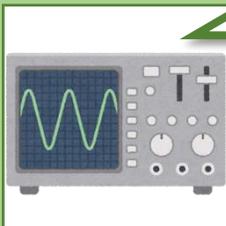


# 学生サポーターの体験談 No.2

ここでは大まかな勉強法しかお伝え出来ませんが、メールでご相談頂ければもっと詳しい話が出来ます！  
新入生・新学年の皆さんが実際どんな疑問や不安を抱えているのか分からないため、ご相談お待ちしております！

学習相談室：shugakushien@m2.tuat.ac.jp

## 参考文献の選び方



化学物理工  
学科  
2年・男性

大学のレポートを書くときは、特別な指定がない限りは参考文献を書かなければいけません。しかし、何でも調べられるwikipediaや、適当なサイトは参考文献にはふさわしくないとされます。ここで2つのおすすめの方法があります。

1つ目は、**wikipediaの一番下にある、その記事の参考文献をみる**ことです。似た内容のものがあるかもしれません。

2つ目は、**Jstageというサイトで調べてみる**ことです。日本語の読みやすい文献が出てくるのでおすすめです。ぜひ使ってみてください。

## 自分に合った本を探そう！



応用化学科  
2年・女性

1年の前期の頃は、線形代数が理解できず、主に線形代数の勉強を多めにしました。先生指定の教科書を使っての勉強では、解説部分の内容が少なかつたため、**自分に合う教科書**を図書館で探し、先生から指定された教科書の基本的な問題ができるように勉強を行っていました。また、基本的に主に**予習**は土日のために、平日には授業の復習を行っていました。そうすることで、授業のスピードの流されることなく、自分のスピードで勉強することが出来ていたと思います。

## 実験レポートはみんなで、早めに対策



機械システム  
工学科  
4年・男性

M科では3年前期まで毎週1本、A4 10枚強のレポートが課されるのですが、再レポートや他の課題と重なると切前がかなり苦しくなります。そこで、毎週実験のすぐ後に**友人や班員と集まってデータ処理や考察などの一人では難しい部分を処理する**ようにしました。

この方法を用いる利点は、早めに片付けることで精神的・肉体的に余裕が出来ること、そして、実験直後の一番理解が深まっている時にレポート作成を行うことで結果的に効率も上がることです。

## 試験は情報戦



生物システム  
応用科学府  
修士1年・女性

試験は授業だけでは対策するのが難しい事が多かったため、どのような対策をすれば良いのかや過去問はあるのかなど、**情報の有無が重要**でした。

過去問と聞くと罪悪感を持つ人もいるかもしれませんが、個人的には過去問を解くのも勉強だと思っています。過去問を持っているだけで点が取れる訳ではなく、結局自分が勉強する事が必要です。むしろ解く過程で、内容が整理されたりします。また、解いた内容を友達確認したり、分からない所を教え合うと、お互いに勉強になるのでお勧めです。